

東トルキスタンに ジェノサイドを犯した 中国共産党

ウイグル人は、国連によって公布された「ジェノサイドの犯罪の防止及び処罰に関する条約」で定義されているように、ジェノサイドの危機に瀕している

ウイグル運動



ウイグル運動

ウイグル運動協会について

ウイグル運動協会は、中国共産党の「新疆ウイグル自治区」と呼ばれる東トルキスタンで、ウイグル人をはじめとするトルコ系人々の人権と民主的自由のために活動しています。この団体は、国際社会との架け橋となり、ウイグル人を代表して行動し、ウイグル問題、特にウイグルの女性や若者の問題について国民のコンセンサスを高め、中国共産党が東トルキスタンの人々に対して行った組織的な人権侵害を止めるために、個人や団体を動員して協力する特定の非営利法人です。

報告書は、ウイグル運動協会グループがまとめて統合したものです。

表紙

この写真は、東トルキスタン司法行政当局の WeChat 公開プラットフォームに投稿されたものです。

2017年4月、中国共産党のいわゆる教育訓練所である（Hotan）ホータン市（Lop）ロプの強制収容所で、ウイグル人の抑留者が「脱エクストレミズム」の講義を強制的に聞かされている。（WeChat からの情報）



[instagram.com/campaignforuyghurs/](https://www.instagram.com/campaignforuyghurs/)



[facebook.com/CampaignForUyghurs/](https://www.facebook.com/CampaignForUyghurs/)



twitter.com/CUyghurs

© 2020 Campaign for Uyghurs
1101 Pennsylvania Ave NW, Suite 300 |
Washington, DC 20004
+1.240.660.8877 |
campaignforuyghurs.org |
contact@campaignforuyghurs.org

目次

第一章 はじめに	4
第二章 東トルキスタンの概要	4
第三章 国連ジェノサイドの犯罪の防止及び処罰に関する条約	7
3-1 「ジェノサイド」の語源	6
3-2 ジェノサイドの犯罪の防止及び処罰に関する条約への署名	6
3-3 ジェノサイドの要素の定義	6
第四章 条約の文脈から見た悲劇的な東トルキスタンのジェノサイド	9
4-1 集団の構成員に重大な精神的・肉体的危害を加えること	9
4-2 全部または一部の身体的破壊をもたらすよう企てられた生活条件を故意に集団に課すこと	12
4-2.1 ウイグル人の民家に強制的に滞在	13
4-2.2 ウイグル女性と漢民族と婚姻の強要	14
4-2.3 強制労働	15
4-2.4 ウイグル民間住宅での強制長期滞在	16
4-3 集団内の出生を妨げることを意図する措置を課すること.....	18
4-3.1 強制中絶	18
4-3.2 強制収容所における女性の定期的な薬漬けとレイプ	19
4-4 集団の児童を他の集団に強制的に移すこと.....	21
4-4.1 強制収容所の親と孤児院の子ども	21
4-4.2 新世代への強制洗脳	22
第五章 イニシアチブ事項	23
第六章 結論と評価	27
参考文献	28

第一章 はじめに

東トルキスタンでのジェノサイドは、1948年に署名された「集団殺害罪の防止および処罰に関する条約」のジェノサイドの定義に合致する。

中国共産党が正式に新疆ウイグル自治区と称している東トルキスタンは、近年、人権侵害が最も広がっている地域となっている。イスラム社会、特にウイグル人に対する専制的で血なまぐさい弾圧は、この地域における中国共産党の経済的、政治的、地政学的利益のために激化している。特に2014年以降、ウイグル人は、民族的アイデンティティと人口の排除を目的とした組織的な民族浄化が行われている。近年、東トルキスタンにおけるジェノサイドは、1948年に国連によって署名された「集団殺害罪の防止および処罰に関する条約」で概説されているジェノサイドの定義を満たしている。この地域では、「集団の構成員を殺すこと、集団の構成員に重大な肉体的または精神的な危害を加えること、全部または一部の身体的に破壊をもたらすよう企てられた生活条件を故意に集団に課すこと、集団内での出生を妨げることを意図する措置を課すこと、集団の子供を他の集団に強制的に移すこと」など、数万件のジェノサイドの事例があります。いわゆる「職業訓練センター」は、ユダヤ人を絶滅させるために設置されたナチスの強制収容所を彷彿とさせ、ウイグル人とその言語、宗教、文化を排除することを目的としている。

中国の専門家、共産主義被害者記念財団の上級研究員であり、東トルキスタンの共産主義政策の第一人者である(Adrian Zenz) エイドリアン・ゼンツ氏は最近、中国共産党がウイグル人女性の生殖自治に対する残忍な干渉を行っていることを強調した報告書を発表した。彼の報告書で集められたデータは信憑性があり、中国政府の公式内部文書から流出した情報は、中国共産党が犯したジェノサイドが国連の「集団殺害罪の防止および処罰に関する条約」の定義を満たしていることをさらに強く確認させてくれます。

第二章 東トルキスタンの概要

東トルキスタンは中国の北西部に位置し、面積は166万平方キロメートルを超える。モンゴル、ロシア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタン、インドと国境を接している¹。2000万人を超えるウイグル族の人口だが、中国共産党が植民地政策を奨励し、漢民族の計画的な移住を行った結果、人口構造が変化した。

¹“East Turkistan.” World Uyghur Congress, 2020, <https://www.uyghurcongress.org/en/east-turkestan-2/>. Accessed 12 October, 2020.4

ウイグル人は自分たちの将来を諦めず、1944年に再び独立した東トルキスタン共和国を樹立するために奮闘した。

以前は東トルキスタンの全人口に占める漢民族の割合は約5%に過ぎなかったが、現在では40～45%（2000年）にまで増加している。東トルキスタンは中国にとって「内政問題」に過ぎないという見方は間違っている。1949年に中国共産党がソ連の支援を受けて新中国設立された際には、東トルキスタンを自国の領土と宣言した。しかし、建国以前には、早くも西暦880年にはウイグル人らが東トルキスタンの人々を率いてカラ・ハーン王朝が成立しており、1218年まではウイグル・ハーンの支配下であり、そしてトルコ・モンゴル帝国の支配下であり、1750年にははじめて清朝に占領されていた。

独立したウイグル人は1750年に清国の占領を受け入れず、あらゆる方法で清国政府の弾圧に抵抗し、その間に占領軍を3回撃破して独立国家を樹立した。1876年に東トルキスタンを再占領した清朝は、「新しい領土」を意味する「新疆」と改名した²。1932年にはクムル市で始まった抵抗運動により、二度目の独立国家樹立が現実のものとなり、1933年には再びカシュガルに東トルキスタン・イスラム共和国が設立された。この間、中華民国と対立する政治的利益にもかかわらず、ソ連は間接的に東トルキスタン併合を支援し、中央アジアにおける他のトルコ語圏の人々の名目上の占領に道を開き、先例を開くために道を切り開くことができました。

しかし、ウイグル人は独立願望を捨てず、1944年に再び独立した東トルキスタン共和国を樹立しました。第二次世界大戦末期、ソ連、アメリカ、イギリスの首脳がヤルタに集まり、戦後の新しい世界秩序の構築を目指した。1945年2月に開催された会議では、ヨーロッパ情勢に影響を与える根拠や、「ソ連の裏庭」と呼ばれる中央アジア諸国の地理的分布の運命を決定し、太平洋で日本と戦った。その後、6月にはソ連と中国の首脳がモスクワで中ソ協定に署名した。この合意によると、ソ連はヤルタ会議でアメリカに譲歩したこととして、東トルキスタンのウイグル人への支援を停止した³。それにもかかわらず、東トルキスタン共和国は毛沢東によって残忍に占領された。

東トルキスタンは1949年に中国共産党が領有した。9.11テロ事件後、中国政府はテロとの戦いを装って、国軍を使ってウイグル人に対する残忍で暴力的な血なまぐさい弾圧を強め、ウイグル人への迫害を「テロとの戦い」と言い換えてきた。その結果、世論を形成し、この誤

² Abdurasulov, Abdujalil. (2019, February 12). Uighur Crackdown: I spent seven days of hell in Chinese Camps. BBC. Retrieved from: <https://www.bbc.com/news/world-asia-47157111>

³ Hao, Shiyuan (2020), China's Solution to Its Ethno-National Issues. Springer, Singapore

ったプロパガンダを外部に納得させようとしたのである。北京政府は、2009年と2014年の出来事を口実に、今日、さらに冷酷で血なまぐさい弾圧の舞台を設定した。中国共産党は、経済的にも地政学的にも、東トルキスタンのあらゆる種類の弾圧を強化してきた。東トルキスタンは、2013年に共産党政府が「一帯一路」と宣伝した地政学的なエリアに位置しています。その結果、ウイグル人の独立を求める要求を無視し、同地域の人権を軽々しく蹂躪し続けている。

第三章 国連ジェノサイドの犯罪の防止及び処罰に関する条約

3-1 「ジェノサイド」の語源

「genocide」（ジェノサイド）という言葉は、1944年より前には存在しませんでした。1944年、ポーランド系ユダヤ人の弁護士であるラファエル・レムキン（1900～1959）は、ヨーロッパ在住ユダヤ人の抹殺を含む、ナチスの組織的殺戮政策を記録しようと努めました。彼は、人種や部族を意味するギリシャ語の「geno-」と、殺人を意味するラテン語の「-cide」を組み合わせて「genocide」という言葉を創りました。この新しい言葉を提案するにあたり、レムキンは「集団そのものの絶滅を目的とした、国民的集団の生命に不可欠な基盤を破壊するためのさまざまな行動の組織的な計画」を考えていました。その翌年、ドイツのニュルンベルクで行われた国際軍事裁判において、ナチス幹部は「人道に対する罪」で告発されました。「ジェノサイド」という言葉は起訴状に含まれていますが、説明的なものであり、法律用語ではありません⁴。

3-2 ジェノサイドの犯罪の防止及び処罰に関する条約への署名

1948年12月9日、ホロコーストの余韻がまだ冷めない中、レムキン自身のたゆまぬ努力もあって、国際連合はジェノサイド犯罪の防止と処罰に関する条約を採択しました。この条約により「ジェノサイド」は国際犯罪と定められ、締約国は「防止と処罰を行う義務」を負うことになりました。

19条は1951年1月12日に発効した。トルコは1950年3月23日に批准し、中華人民共和国は1949年7月29日に署名し、1983年に批准した⁵。

⁴ Genocide. (n.d.). Retrieved from <https://www.un.org/en/genocideprevention/genocide.shtml>

⁵ TBMM İnsan Haklarını İnceleme Komisyonu. Soykırım Suçunun Önlenmesine ve Cezalandırılmasına Dair Sözleşme. Kamu Denetçiliği Kurumu. Retrieved from: <https://www.ombudsman.gov.tr/contents/files/32702-Soykirim-Sucunun-Onlenmesine-Ve-CezalandirilmasinaDair-Sozlesme.pdf>

3-3 ジェノサイドの要素の定義

「ジェノサイド」とは、国民的、民族的、人種的、または宗教的な集団の全体もしくは一部を破壊する意図をもって取られる次のような行動と定義されています。

- (a) 集団の構成員を殺害すること
- (b) 集団の構成員に重大な肉体的または精神的な危害を加えること
- (c) 全体または一部の肉体的な破壊をもたらすような危害を集団の生活条件に故意に与えること
- (d) 集団内での出生を妨げることを意図とした措置を講ずること
- (e) 集団の子供を別の集団に強制的に移送すること⁶

後に実証されるように、中国共産党はこれらの犯罪のほとんどを犯しており、現在もそのような犯罪を続けている。協定第3条では、大量虐殺の委託、大量虐殺の共謀、大量虐殺を行うための直接的かつ公然とした扇動、大量虐殺未遂、大量虐殺への共犯はすべて処罰の対象となることを強調しています。

第4条では、誰が大量虐殺の罪を犯しても例外ではなく、法律上の権威者や公務員である以上、厳しく処罰されなければならないことを強調しています。国内法上の取り決めに対処する義務は第五条に定められているが、必要に応じて地方自治体や国際刑事裁判所の前で裁判が行われることを規定した第6条の範囲内である。

第7条では、犯罪者はその国に関係なく送還されることになり、政治犯とはみなされない。条約の他の条文では、締約国が必要に応じて国際連合に援助を求めることができ、また、必要に応じて、締約国の要請に応じて、その提案を国際司法裁判所に付託することができることも保証されている⁷。

⁶ TBMM İnsan Haklarını İnceleme Komisyonu

⁷ TBMM İnsan Haklarını İnceleme Komisyonu



中国政府はコーラン、祈りの敷物、すべての宗教的資料の焼却を命じた（リパティ・ヘラルド）

条約の規定を見る上で、まず、被害者の集団を特定する措置がないことに留意すべきである。この点での範囲の対象は、国際的な事例の結果として具体的に形成されている；例えば、「国民的、民族的、人種的、宗教的」な特性が重要であり、出生によって決定される永久的なメンバーシップを提供し、固定された適格集団の形成を可能にしている⁸。まとめると、ムスリムやウイグル人（東トルキスタン人）は「被害者」の定義に該当しますが、これは「被害者」を「国家、民族、人種、宗教などの理由で迫害されている者」と大まかに定義しています。

ここで強調すべき第二の点は、上記の集団の一部または完全な排除により、条約に従った犯罪が可能になることである。個人ではなく、集団に対する行動が求められています。

さらに、中国共産党は何百万人ものウイグル人を標的にし、排除し、21世紀の強制収容所や刑務所に収容してきた。この条約の最も顕著な点は、被害者集団として、一部の者は駆除しても、すべてではないが、一部の者を駆除しただけでは犯罪にはならないということである。この時点で、ターゲットグループが特定されると、定性的な側面と定量的な側面の両方を考慮する必要があります。質的には、集団の多数派の排除、つまり既に対象となっている人数と生存者数を比較して基準とする。合理的な割合に達していれば、ジェノサイドを構成するのに十分であると考えられます。質とは、グループのリーダー、著名人、重要人物など、対象となる人のタイプを指す⁹。東トルキスタンでは、標的にされ強制収容所に連行された人々の多くは、詩人、教授、学者、作家、有力者であった。すなわち、東トルキスタンで行われた「全部または一部」の行為は、条約上のジェノサイドの犯罪事実を構成する。

⁸ Özarslan, B. Bahandır(2014). Soykırım Suçunun Önlenmesi ve Cezalandırılması Sözleşmesi Açısından Hocalı Katliamı. Hacettepe Hukuk Fakültesi Dergisi. Retrieved from: <http://www.hukukdergi.hacettepe.edu.tr/dergi/C4S1makale9.pdf>

⁹ Özarslan, B. Bahandır



柵と有刺鉄線の見張り台がある強制収容所で、ウイグル人やカザフ人などのトルコ系イスラム教徒が恣意的に拘留されている。東トルキスタンのホタン(Hotan)郊外にある強制収容所 (© Greg Baker/AFP Getty Images)

第四章 条約の文脈から見た悲劇的な東トルキスタンのジェノサイド

ウイグル人のイスラム教徒が中国共産党によって強制的に同化され排除されたことを改めて心に留めておくことが重要である。1949年以來、ウイグル人は、異なる時期に、異なる方法とシステムによって、北京当局の帝国主義的な目的の餌食となってきた。ウイグル人の大量殺戮の計画が実行されていないため、ジェノサイド犯罪の防止及び処罰に関する条約第2条の「a」条項の「集団の構成員の殺すこと」については、十分なデータがない。しかし、同条約第4条では、いずれかの行為を大量虐殺と定義し、加害者を処罰することを求めている。このことを踏まえて、ウイグル人が直面したジェノサイドの事実は次のようになっています。

4-1 集団の構成員に重大な精神的・肉体的危害を加えること

「拷問の間、私は死にたかった。殺してくれと懇願した」 ミヒリグリは勾留中に何日も尋問されて眠れなかったと述べた。

東トルキスタンで行われたジェノサイド条約第2条「b」の犯罪の例は何百もある。これだけで、ウイグル人に対する行為をジェノサイドと定義するには十分です。特に2014年に設置された強制収容所の元収容者や元受刑者が提示した証拠を考えると、このような証拠があることは間違いない。この問題について米国議会で証言したMihrigül Tursun氏がその一例である。彼女は3回拘束や逮捕され、後に強制収容所に送られた。「拷問の間、私は死にたかった。殺してくれと懇願した」 ミヒリグリさんは、勾留中に何日も尋問され、眠れなかったという。彼女は未知の薬を注射され、口から泡が出るまで頭に電気ショックを与える装置をつ

けられていました。 ミヒリグリは、自分がウイグル人だからというだけで拷問されたと言われた¹⁰。



中国共産党強制収容所の生還者ウイグル人女性ミヒリグリ・トゥルスン (©Yenisafak)

カザフ人である (Gulzira Awulkan) グルジラ・アウルカンさんによると、中国の強制収容所にはすべてカメラが設置されており、一挙手一投足が監視されていたという。最大 24 時間連続で虎のベンチに座らされるという罰を 2 回受けたという。¹¹



中国共産党強制収容所の生還者 Gulzira Awulkan ©Reddit

¹⁰ Cockburn, Harry. (2018, November 28). Muslim woman describes torture and beatings in China detention camp: 'I begged them to kill me'. Independent. Retrieved from: <https://www.independent.co.uk/news/world/asia/ughur-muslim-china-mihrigul-tursun-torture-education-camps-a8656396.html>

¹¹ PBS Frontline. (2020, April 7). China Undercover. PBS Frontline. Retrieved from: <https://www.pbs.org/wgbh/frontline/film/chinaundercover/>

もう一人の収容所の生存者である（Orynbek Koksybek）オリンベク・コクシベクさんは、7日間監禁された座敷牢の中で手足に手錠をかけられていたと述べています。しばらくすると意識を失い、耳元で「裏切り者」と罵声を浴びせられ続けた¹²。



強制収容所に収容されていたオリンベク・コクシベクさんは、七日間連続座敷牢に放り込まれたと語る（©BBC）

（Kairat Samarkand）カイラット・サマルカンドは、彼がきちんと寝床を整理しなかったために、強制収容所の一つで丸一日鉄の服を着せられていたことを明らかにした¹³。これらの例は、東トルキスタンの1200の強制収容所で、ウイグル人や他のイスラム教徒のコミュニティのメンバーが体験した実体験のほんの一部に過ぎません。記載されていない他の拷問も発生しており、これらの犯罪が中国共産党によって行われたことは、条約の「集団の構成員に重大な身体的または精神的危害を与える」行為と一致している。



強制収容所の生存者カイラット・サマルカンド（AP/Daily Mail UK）

¹² Abdurasulov, Abdujalil. (2019, February 12). Uighur Crackdown: I spent seven days of hell in Chinese Camps. BBC. Retrieved from: <https://www.bbc.com/news/world-asia-47157111>

¹³ Schmitz, Rob. (2018, November 13). Ex-Detainee Describes Torture In China's Xinjiang Re-Education Camp. NPR. Retrieved from: <https://www.npr.org/2018/11/13/666287509/ex-detainee-describes-torture-in-chinas-xinjiang-re-education-camp>

4-2 全部または一部の身体的破壊をもたらすよう企てられた生活条件を故意に集団に課すこと

ドキュメンタリーでは、中国共産党の役人が「人権侵害ってなに？ 彼らには権利がないから違反することはない」

PBS の調査ジャーナリズム番組「Frontline」が制作したドキュメンタリー「China Undercover」は、この記事で取り上げた犯罪についての重要な手がかりを提供している。ドキュメンタリーでは、中国共産党の役人が「人権侵害ってなに？ 彼らは権利を持っていないので、違反することはありません。」この声明はすべてを要約している¹⁴が、2019年12月3日に米上院で承認された「ウイグル人権政策法」は、中国政府のメカニズムが、ハイテク監視システム、通信制限、ウイグル人の一挙手一投足の追跡・監視、インターネットやソーシャルメディアのフィルタリング、顔・声・瞳孔スキャンシステムの設置など、東トルキスタンの基本的人権を侵害していることを強調している¹⁵ので、以下のようになる。ウイグル人は自分たちの宗教、文化、信念体系に従うことを許されていません。ウイグル人はモスクに行き祈ることができなくなった。

以前、質問されたときに自分はイスラム教徒だと答えた人は、中国共産党への信仰を表明しなかった。地域に設置された高度な監視技術システムは、生活の一挙手一投足を監視しており、その結果、人々は真実を語ることを恐れるようになった。

ドキュメンタリー「最前線」では、サディルジャン (Sadyrzhan) は妻が強制収容所から出て行ったという知らせを受けたと述べている。しかし、中国のソーシャルメディアで妻のムイェーザー (Muyeser) が髪をむき出しにしている写真を見てショックを受け、心を痛めていたという。これは、妻のムイェーザーが元々、収容所で捕まる前に、彼女の宗教的信条の伝統に従って、ヘッドスカーフを着用していたからである。「これは、彼女がいかに中国共産党の専制政治によって精神的な抑圧を受けていたかを示している」と続け、「共産主義によって、母への愛を忘れさせられ、子供たちへの愛さえも忘れさせられたほどだ」と述べた。¹⁶「北京政府の手で東トルキスタンのウイグル人や他のイスラム教徒が受けた迫害の深刻さは、流出した『Karakash list』(カラカシュ文書)で明らかにされており、この文書は、ジェノサイドなどの一連の犯罪の実行の根拠と手掛かりにもなっている。本書では、強制収容所に収容されていた人たちを、疑惑のある犯罪について分類しています。その中には、「ヘッド

¹⁴ PBS Frontline. (2020, April 7). China Undercover. PBS Frontline. Retrieved from: <https://www.pbs.org/wgbh/frontline/film/chinaundercover/>

¹⁵ Uyghur Human Rights Policy Act of 2019, S.178, 116th Cong. (2019). Retrieved from: <https://www.congress.gov/bill/116th-congress/senatebill/178>

¹⁶ PBS Frontline. (2020, April 7). China Undercover. PBS Frontline. Retrieved from: <https://www.pbs.org/wgbh/frontline/film/chinaundercover/>

スカーフの着用、民族帽子（Doppa）の着用、ひげをのばすこと、宗教をもつこと、海外旅行をしたことがあること、出国せずにパスポートを申請したこと、海外に親族がいること」などの理由としている¹⁷。



強制収容される前のムイェザーと夫のサディルジャンと子供 写真はPBSのドキュメンタリー番組「Frontline」の「China Undercover」から撮影

4-2.1 ウイグル人の民家に強制的に滞在

中国政府は110万人以上の漢民族の幹部を東トルキスタンに派遣し、ウイグルの家族の日常生活に潜入して監視している。彼らの仕事は、ウイグル人の家に強制的に住み込み、必要に応じてベッドを共有し、日常生活のあらゆる面を監視・管理することです。北京政府主催の「一家親」プロジェクトでは、漢民族の幹部が少なくとも2ヶ月に1回、1週間ほど訪問している。滞在中は、中国共産党のプロパガンダを継続的に広めながら洗脳し、彼らを監督している。これらの訪問では、家の主人に酒を飲まされたり、豚肉を食べさせたりなど、イスラム教で禁じられているを勧めた。ウイグル人がスーパーで「ハラール肉」を要求したり、酒を断るような行為をすると容疑者として通報され、強制収容所に連行されます。

「政府主導の集団レイプ」

このいわゆる「一家親」計画の最も危険な側面は、夫が収容所にいた女性が漢民族の男性とベッドを共有しなければならなかったことでした。

¹⁷ UHRP. (2019, February). "Ideological Transformation": Records of Mass Detention From Qaraqash, Hotan. Retrieved from: https://docs.uhrp.org/pdf/UHRP_QaraqashDocument.pdf

ウイグル運動の創設者であるグリシャン・アッバス (Gulshan Abbas) は、この事実の裏側が「政府が推進する集団レイプ」につながっていると指摘している¹⁸。



漢民族（幹部）はウイグル人の家に送られ、肉体的、精神的、性的虐待の被害者となっている。 フリーダムヘラルド

4-2.2 ウイグル女性と漢民族と婚姻の強要

ウイグルの少女を漢民族の男性と強制的結婚させることは、東トルキスタンの人口構造を変える重要な一歩であり、特に、ウイグル人の家に常連客として漢民族がいることによって、そこに住む若い少女たちを組織的に強制結婚させることによって、東トルキスタンの人口構造を変えることになった。 両親は結婚に反対することはできなかった理由は、反対したら強制収容所に送られてしまうからだ。 北京政府は、ウイグル人の家族構造を破壊するために、多額の礼金と質の高い仕事と無料の住宅を提供することを条件として、これらの漢民族のお見合い結婚させている。 中国共産党は、映画、広告、その他のメディアを通じて、漢民族の強制結婚候補者を募集するキャンペーンを成功させ¹⁹、政府はさらに一歩進んで、強制結婚計画を順

¹⁸ Kang, Dake and Wang, Yanan. (2018, November 29). China Sends 1.1 Million Party Members to share Uighurs' Homes. Bloomberg. Retrieved from: <https://www.bloomberg.com/news/articles/2018-11-30/urgent-uninvited-guests-keep-watch-for-china-inside-uighur-homes>

¹⁹ Hartman, Leight. (2020, February 7). Çin, Uygur kadınlarını istenmeyen evliliklere zorluyor. Share America. Retrieved from: <https://share.america.gov/tr/cin-uygur-kadinlarini-istenmeyen-evliliklere-zorluyor/>

調に進むために、「社会安保員」を雇うことにした。社会安保員の役割は、結婚式の際に漢民族の男性を誘導し、ウイグルの少女やその家族を「説得」して会うことだった。一方、ウイグルの男性は、中国共産党によって「テロリスト」であるという捏造が絶えず行われている。一方で、ウイグル人女性は「性的対象」として宣伝されている。これもまた、地域の家族構成や生活様式を強引に変えようとする策略である²⁰。



漢民族との結婚を強要されたウイグル人の女性 (©Talk to East Turkestan Facebook) /中国共産党の監視下に集団で漢民族の男性との結婚を強要されたウイグル人女性たち

4-2.3 強制労働

中国共産党が犯したもう一つの犯罪は、東トルキスタン人を強制労働施設で働くために工場に強制的に移送したことである。ナチスがユダヤ人に労働を強要したように、ウイグル人は囚人と同じような制服を着て、汗を流す工場で働かされた。オーストラリア戦略政策研究所の報告書「売り物のウイグル」には、憂慮すべき情報が含まれている。報告書によると、8万人以上のウイグル人が強制収容所から連れ去られ、ナイキ、GAP、アップルなどの世界的に有名なブランド品を生産工場に送られたことが明らかになっている。未完全統計によると、このような搾取工場の数はいくつに上るとされている²¹。これもまた、東トルキスタンの人口構造の強制的に変えるために使われるツールだ。中国共産党によって確立された体制は、東トルキスタンの人々の生活状況を完全に壊してしまった。これもまたジェノサイドの罪を構成している。

²⁰ Byler, Darren. (2019, August 7). Uyghurlove in a time of interethnic marriage. SupChina. Retrieved from: <https://supchina.com/2019/08/07/uyghur-love-in-a-time-of-interethnic-marriage/> -1

²¹ Xu, Cave, Leibold, Munro & Ruser. (2020, June 5). Uyghurs for Sale: 'Reeducation', forced labour and surveillance beyond Xinjiang. Retrieved from: <https://s3-ap-southeast-2.amazonaws.com/ad-aspi/2020-06/Uyghurs%20for%20sale-05JUN20.pdf> gLsFgl8LmxiW_bfX8GZjgtHpA9dcK30



ウイグル人、カザフ人、その他のトルコ系イスラム教徒は、強制労働施設で奴隷労働者として働くために、東トルキスタンから中国本土への移送を待っている。（写真 左：ウイグルガゼット、右：ツイッター doguturkistan.org より）



中国政府は、東トルキスタンから大量のウイグル人、カザフ人、その他のトルコ系イスラム教徒の若者をバスで、強制労働のために中国本土の労働搾取工場に移送した。

4-2.4 ウイグル民間住宅での強制長期滞在

東トルキスタンの人口構造を変えるために、中国政府は一方、大量のウイグル人を中国本土の強制労働施設で働くために移送し、多くの漢民族を東トルキスタンに植民した。



写真左：滞在中の漢民族公務員がウイグル人の主人にタバコと酒を強要する。画像由来は、漢民族の公務員が「MeiPai」のソーシャルメディアに投稿した、滞在体験についての日記記事よりです。

写真右：地方に送られた2人の「親戚」が、ウイグル人の家の主人とベッドを共有している。画像由来は、新疆共産党青年団がソーシャルメディアプラットフォーム「WeChat」に投稿したもの。



漢民族はウイグル人の家を長期滞在して日常生活を監視すれば金銭的に報われた。漢民族の男性は、夫たちが強制収容所に投獄されたり、強制労働工場に送還されたりしたため、一人暮らしの女性の家を占拠していました。(© The Liberty Herald)

中国政府が東トルキスタンを強制的に植民地化し始めたのは、ウイグル人を強制労働のために中国本土に移住させたように、漢民族を強制的に植民地化させたからだ。人口規模13億の中国でウイグル人を一掃し、民族的アイデンティティを忘れさせることが目的だった。この地域の経済発展を維持するために、中国共産党は没収されたウイグルの土地や財産を組織的に利用して漢民族の移住を促し、ウイグル人は東トルキスタンからの移住を余儀なくされた。

4-3 集団内の出生を妨げることを意図する措置を課すること

中国政府にとっては、東トルキスタンに住むウイグル人の宗教文化と民族意識のアイデンティティを破壊することが、実施の最優先課題となっている。長期的な目標の一つとして、ウイグル人の出生率を下げ、将来世代をなくすことを掲げています。特に近年、ウイグル人の出生率が急落している。この行為は、ジェノサイドの範囲の最も重要な指標の一つに該当します。

4.3-1 強制中絶

今回警察は彼女を警察署に連れて行くのではなく、病院に連れて行ってくれました。病院では中絶を余儀なくされた。

本名を明かしたくない37歳のウイグル人女性は、カザフ人と結婚してカザフスタンに住んでいるが、2018年7月、家族を訪ねるために一人で故郷の東トルキスタンに戻った後、中国警察に逮捕された。逮捕後、中国の警察に強制的にカザフスタンから子供を連れて来ることを命じた。彼女が拒否すると、警察は彼女の兄が苦しむことになるかと脅した。子供が学校にいるから連れてこられないと言っていました。しかし、学校が休みになってからは、仕方なく子供たちを連れて帰ることになった。入国してすぐにパスポートが取り消された。その後、携帯は没収され、WhatsAppアプリを禁止するよう言われました。

その後ほぼ毎日彼女が警察署に連れて、筆録を取ると命じた。2018年12月28日の深夜、彼女の自宅は警察に家宅捜索された。今回は警察署に連れて行く代わりに、警察が病院に連れて行ってくれました。病院では中絶を強要された。抵抗したところ、警察は「すでに2人の子供がいて、3人目の子供は許さない」と言っていました。その後、警察は彼女の兄を逮捕し、中絶しなければ罰を与えると脅した。兄を救うため、彼女は中絶を選択せざるを得なかった²²。

2009年に共産党当局に逮捕され、4年間強制収容所に収容されていたルキエ・ペルハット (Ruqiye Perhat) さんも、服役中に中絶を余儀なくされていた。

²² Schmitz, Rob. (2018, November 13). 'They Ordered Me To Get An Abortion': A Chinese Woman's Ordeal In Xinjiang. NPR. Retrieved from: <https://www.npr.org/2018/11/23/669203831/they-ordered-me-to-get-an-abortion-a-chinese-womans-ordeal-in-xinjiang>

2017年12月にカザフスタンから帰国後、スマホにWhatsAppのソフトウェアをダウンロードしていただけで逮捕されたグルジラ・モグディン（Gulzira Mogdyn）さん（38歳）。拘留されて医者に連れて行かれた時に、妊娠10週と知りました。4人目の子供を産むことは禁じられていると言われ、麻酔をかけずに無理やり妊娠を終了させたそうです。



グルジラ・モグディン、カザフスタンから帰国後の2018年に中国政府が強制的に中絶させた4人目の子供を明かす（© Joel van Houdt/For The Washington Post）。

4-3.2 強制収容所における女性の定期的な薬漬けとレイプ

「私や他の女性囚人は、正体不明の錠剤や液体の点滴を強制的に投与されました。その結果、極度の身体的不快感と頻繁なめまいがありました。この間、多くの女性が月経周期を止めた。」

強制収容所の生き残りであるミヒリグリ・トゥルスン（Mihrigül Tursun）さんは、「私や他の女性囚人は、正体不明の錠剤や液体の点滴を強制的に与えられました。その結果、極度の身体的不快感と頻繁なめまいがありました。その間、多くの女性が月経周期を止めてしまった」。Mirguriはまた、9人の女性が薬漬け過度のため、牢内で死亡したと述べている²³。

フランスのニュースチャンネルによると、グリバハル・チェリロバ（Gülbahar Celilova）さんは、彼女が収容所で1年以上過ごした間、中国の共産主義者の医師から未知の液体を何度も注射されたと述べています。注入作業については、「ボールのかかった窓から腕を突き出すしかなかった」と話していた。続けて、「強制的に注射された後、生理が止まっていたことが判明した」と述べた。

²³ Cockburn, Harry. (2018, November 28). Muslim woman describes torture and beatings in China detention camp: 'I begged them to kill me'. Independent. Retrieved from: <https://www.independent.co.uk/news/world/asia/uighur-muslim-china-mihrigul-tursun-torture-reeducationcamps-a8656396.html>

グリバハルは強制収容所でウイグル人に与えられた拷問方法を暴露した。「私は中国とカザフスタンの間で取引をしているビジネスウーマンです。最後に東トルキスタンに出張したのは2017年のことで、中国の警察に強制的に連れ去られたのが泊まったホテルでした。逮捕されて刑務所に入れられました。刑務所に入った初日、自白をするために拷問を受け、私はほとんどすべての服を剥ぎ取られ、水を飲ませてもらえませんでした。その後、別の刑務所に移され、再び裸になって健康診断を受け、レントゲン透視検査と妊娠しているかどうかの血液検査を受けました。その後、刑務所内で妊娠した女性は強制的に中絶させられていたことを知りました。1年3ヶ月と10日の拘留されました。」

「病棟の女性は皆、手錠をかけられ、足錠をかけられていました、私も例外ではありませんでした。足についている錠は5キロ重さがあった。そうやって16ヶ月も刑務所に入れられていたんです。週に一度、むき出しの冷たいコンクリートの床に座るように命じられた。10日ごとに未知の薬を注射してくれていたのですが、そのうちに意識がなくなってきて記憶がなくなってきてしまいました。衛生面で非常に忌まわしい状態にあり、入浴も許されないため、シラミだらけになってしまった人も少なくありませんでした。頭に黒い袋を被せられて取調室に連れて行かれました。24時間から48時間ノンストップで厳しく叩かれることもありました。尋問された者の中には、指の爪を抜かれ、体に鞭の跡や電気ショックを受け、あざや血まみれになるほどの拷問を受けた者もいた。」²⁴

ウイグル人の女性トゥルスネイ・ジアウドゥン (Tursunay Ziyawudun) さんは、強制収容所で最大10ヶ月間、いたるところにカメラが設置されていることを指摘した。



2019年10月15日にアタユルトにあるカザフの人権団体の事務所で行われたインタビューで、トゥルスネイ・ジアウドゥンさんは、彼女と夫が中国の現地当局にパスポートを没収された後、強制収容所（中国共産党のいわゆる「職業訓練センター」）に1ヶ月以上拘束されていたことを明らかにしました。中央アジアに住むアート

²⁴ Bag, Mustafa. (2019, August 14). Doğu Türkistanlı kadınlar: Çin, toplama kampında verdiği ilaç ve iğnelerle bizi kısırlaştırdı. Euronews. Retrieved from: <https://tr.euronews.com/2019/08/14/dogu-turkistanl-kadinlar-cin-toplama-kampinda-verdigi-ilac-ve-ignelerle-biz-kisirlastirdi>

「すべての活動は監視されていて、プライバシーはありませんでした。いくつかの夜には、若い女の子たちがキャンプから姿を消し、後に戻ってきた。その後、彼らは独房の暗い隅に座って静かに泣いていたが、誰も声を出す勇気がなかった。強制収容所では誰もレイプの話をしなかった」 トゥルスンナイはと言った²⁵。これらの事例は、中国政府が東トルキスタンのイスラム教徒の女性に与えたジェノサイドを構成する残忍な拷問の氷山の一角を反映しているに過ぎない。多くの被害者は、北京政府による報復的な迫害を恐れて、自分の体験を公表することができません。

4-4 集団の児童を他の集団に強制的に移すこと

2014年以降、東トルキスタンに大量強制収容所が設置されたことを受けて、数百万人、特に国家指導者やエリートがそこに捕らえられました。その過程で、子どもたちが一番の被害者になっています。中国政府は、ウイグル人の子供たちを中国国内の孤児院に入れ、家族から強制的に引き離している。東トルキスタンから50万人以上の子供が連れ去られたと推定されています。この行為は、国連条約第2条の範疇に沿ったものであり、中国共産党が行ったジェノサイドを認定強化するものです。

4-4.1 強制収容所の親と孤児院の子ども

多くの子供が幼児期に母親から強制的にさらわれ、親が子供の身元を確認できなくなっている様子がソーシャルメディアに投稿されている動画は、少なくとも中国の陰謀が成功していることを示している。カシュガル地区（コデー市）で起きた事件も有力な証拠だ。現地で活動している中国の関係者は、「最近、連れてこられたウイグルの子どもたちが急に激増している。その中でも、最年少は生後6ヶ月くらいの赤ちゃんから、12歳くらいの子供まで様々です。」そこで働くウイグル人一人は、「本人の両親でさえ、子供の居場所を知ることが許されていない。厳しい監視されて、逃げることは有り得ない。²⁶」と述べていた。

ヒューマン・ライツ・ウォッチの報告書によると、中国共産党は2020年までにすべてのウイグル人の子どもたちを国営の孤児院に入れることを目標としている。子どもたちの親の中には強制収容所に連れて行かれた子どももあり、ヒューマン・ライツ・ウォッチの中国ディレクターであるソフィー・リチャードソン（Sophie Richardson）は、「中国政府による子ども

²⁵ Rajagopalan, Megha. (2020, February 15). She Escaped One of China's Brutal Internment Camps for Muslims. Now she Could Be Sent Back. BuzzFeed News. Retrieved from: <https://www.buzzfeednews.com/article/meghara/china-uyghur-xinjiang-kazakhstan>

²⁶ UYHAM. (2017, October 18). Çin Uygur Ana-Babalari Hapsediyor, Çocuklarını İse, Çin'e Götürerek Assimile Ediyor. World Uyghur Congress. Retrieved From: <https://www.uyghurcongress.org/tr/cinuygur-ana-babalari-hapsediyor-cocuklarini-ise-cine-goturerek-assimile-ediyor/>

たちの強制的な分離は、おそらく新疆（東トルキスタン）における抑圧の中で最も残忍な犯罪事実である」と述べている²⁷。

4-4.2 新世代への強制洗脳

ドイツの学者エイドリアン・ゼンツ（Adrian Zenz）は、「寄宿学校は、中国共産党が少数派の学童をイデオロギー的・文化的に洗脳するための理想的な悪の温床となっていた」と指摘し、これらの施設を設立した中国政府の真の目的を明らかにしている²⁸。



写真左：中国国営の孤児院で強制的に洗脳されるウイグル人の子供たち。子供たちは親から強制的に連れ去られ、代わりに強制収容所や強制労働の現場に入れられる。（@Freedom Herald）

写真右：中国共産党は、親が生きているにもかかわらず、国営の孤児院でウイグル人の子供たちを強制的に隔離している。これらの学校には有刺鉄線、監視塔、武装警備員が設置されています。（@Independent）

中国共産党は、民族浄化のために、ウイグルの子供たちを漢民族自身の言語、宗教文化、価値観を洗脳し、共産主義イデオロギーの思想で強制的に思想改革させた。

中国人自身が何世紀にもわたって一度も着ていない伝統的な中国の服でさえ、ウイグルの子供たちに強制的に着せられている。この影響を受けやすい、若い年層から、共産主義の思想や文化を強制的に植え付けられ、親からの家庭教育を「有害なウイルス」と称して、子供たちを洗脳していくのです。

²⁷ Aytekin, Emre. (2018, October 17). HRW'den yetim Uygur çocuklar uyarısı. AA. Retrieved From: <https://www.aa.com.tr/tr/dunya/hrwden-yetim-uygurcocuklar-uyarisi/1284699>

²⁸ Aytekin, Emre. (2018, October 17). HRW'den yetim Uygur çocuklar uyarısı. AA. Retrieved From: <https://www.aa.com.tr/tr/dunya/hrwden-yetim-uygurcocuklar-uyarisi/1284699>

第五章 イニシアチブ事項

以上の事実は、中国共産党が行ったジェノサイド関連犯罪の被害者の供述に基づくものであり、中国共産党が東トルキスタンのムスリム・ウイグル人に対して行った残虐行為が、国連の「ジェノサイド犯罪の防止及び処罰に関する条約」に基づき、ジェノサイドに関する法令に則って行われたものであることを示す、真実であり、強い証拠である。中国共産党は、組織的かつ継続的にウイグル人を暴力的な弾圧と拷問にさらし、人種同化を強要して大量虐殺を行ってきた。北京政府は、国連で署名・批准した「ジェノサイド犯罪の防止及び処罰に関する条約」に重大な違反をしている。したがって、我々は、中華人民共和国の習近平国家主席と新疆ウイグル自治区の陳全国書記をはじめとする連帯責任者に対して、これらの凶悪な犯罪に対して法的責任を負うことを強く要求する。

必要な措置としては、中国の地域における活動を効果的に監視するためには、国際委員会を設置し、中国の地域における政策の実施状況を監視するために必要な措置を講じることが必要である。ガンビアは、ミャンマー（アジアの国でもある）のアラカン系イスラム教徒に対して行われたジェノサイド（大量虐殺）について、国際司法裁判所に提訴した。訴訟を起こしたのは、イスラム教徒が多数を占めるガンビアを代表とするイスラム協力機構（OIC）。イスラム協力機構は、東トルキスタンで行われたジェノサイドに対して抗議行動をとるべきである。

以上の知見を踏まえ、関係する政府・非政府組織や立法機関がとるべき政策行動は下記の通りでお願いしたいと思います。

国際連合

- 国連は、中国が国連人権理事会のパネルの常任理事国入りを直ちに剥奪する措置をとるべきである。
- 国連は、ウイグル人の強制労働者を雇用していると疑われる強制収容所や工場について、独立した調査を行うために、東トルキスタン全域への抜き打ち訪問のための即時アクセスを要求すべきである。

- ジェノサイドの特定を容易にするために、国連は、国連、イスラム協力機構、および関連する国際人権機関の共同指導の下に委員会を設置すべきである。その結果得られた報告書は、遅滞なく国際司法裁判所に移送され、国際連合またはイスラム協力機構を代表して国家を指定すべきである。
- 同委員の調査の間、中国は他国との経済関係を利用して、関連する制裁措置を講じることで手続きに影響を与えることを禁止すべきである。
- 国連は、中国共産党がウイグルの子供たちを家族から追い出し、孤児院に送ることを阻止しなければならない。また、すでに連れ去られてしまった子どもは、家族と再会させるべきです。
- 東トルキスタンの中国共産党政権が確立した高度な監視技術システムを廃止し、それに加担した技術企業を人権侵害で制裁すべきである。
- 漢民族の東トルキスタンへの移住とウイグル族の家への侵入の実施を止めるべきである。
- 国連は現在進行形の犯罪をジェノサイドと正式に認めるべきだ。
- 米国上院が 1959 年の共同決議 111 号で東トルキスタンを植民地化した国として認めたように、国連は東トルキスタンを占領地として認めるべきである。

欧州議会

- 欧州議会は、米国のウイグル人権法やウイグル人強制労働防止法と同様の法案を制定すべきである。
- 欧州議会は、強制収容所の実施、執行、防衛に関与したすべての中国政府関係者に対するマグニツキー制裁を直ちに制定し、公布するとともに、関連企業、団体、個人を制裁のためにブラックリストに載せるべきである。

- 欧州議会は北京が主催する 2022 年冬季オリンピックへの参加を拒否すべきだ。
- 米国上院が 1959 年の共同決議 111 号で東トルキスタンを植民地と認めたように、欧州議会は東トルキスタンを占領地と認めるべきである。

関連するすべての民主主義国の政府

- すべての民主主義国の政府は、東トルキスタン（中国共産党のいわゆる新疆ウイグル自治区）への使節団または領事館の設置を進めるべきである。
- すべての民主主義政府は、中国共産党政権から逃れてきたウイグル人の難民と財政支援を受け入れるべきである。

教育機関

- 大学やその他の教育機関は、ウイグル人学生の勉学を支援するための奨学金や学費減免を設立するために、あらゆる努力をすべきである。
- 学術機関は、中国共産党の直轄機関であるため、最近「言語交流協力センター」と名称を変更した孔子学院の即時閉鎖を求めなければならない。

非政府組織

- 関連するすべての NGO は、より詳細な用語ではなく、ジェノサイドを反映するように組織用語を調整すべきである。

その他の事業体

- イスラム協力機構（OIC）は、東トルキスタンを侵攻された領土として認めるべきである。
- イスラム協力機構（OIC）は、2019年にアブダビで採択した決議から中国に関する関連部分を撤回し、中国の対イスラム戦争を明示的に非難すべきだ（決議 1/46-MM では、中国がイスラム教徒の市民に保護を提供していることを称賛していた）。

企業情報

- 企業は、サプライチェーンにウイグル人の強制労働がないことを保証するための企業方針を直ちに策定することを求めるべきである。
- 企業は、米国政府やNGOと協力して、ジェノサイドに加担する可能性のある企業の責任感を現実的に醸成する企業教育プログラムを開発しなければならない。

個人の方

- 個人は、特に東トルキスタンの奴隷労働との関係がある中国産の製品をボイコットし、その製品を購入することについての懸念を適切な役員会のメンバーに知らせるために手紙を書くべきである。
- 個人は、議員と定期的に連絡を取り合い、関連法案の支援を開始し、ジェノサイドに関する追加法案の制定の可能性を探るべきである。
- 個人は、ウイグル問題に注目し、財政的な支援を提供するために、関係する個人やグループに働きかけるべきである。
- 個人やグループは、ウイグル人が自分たちの宗教を实践し、生計を立て、自分たちのニーズを満たし、言語や文化を楽しむための自由な環境を提供するために行動しなければなりません。

第六章 結論と評価

中国共産党政権が緊急に必要な対策を取らなかったことで、2019年以降、武漢肺炎ウイルスは中国から急速に拡散し、世界中で総動員されて攻撃されている。世界中に伝染病を広めているだけでなく、中国政府は自分たちの政治的・経済的利益のために、いつものように血なまぐさい弾圧とウイグル人や他のイスラム教徒グループへの迫害を続けている。今の東トルキスタンで何が起きているのか、その真相を明らかにすることはできませんが。しかし、上記で暴露されたケースのように、世界の公共メディアに、そこで行われているジェノサイドの程度を認識させようとすることによって。中国政府が組織的にこの情報を否定しているにもかかわらず。しかし、最終的には、中国共産党が犯したすべての人権侵害、特に強制収容所建設という凶悪な犯罪の責任を問われなければならない。中国共産党がウイルスを使って世界を操作していることを認識しているように、多くの国が北京政府の行動に疑問を持ち始めている。残念ながら現在、ウイグル人は占領下のパレスチナ人と同じような運命に陥っています。これは国際的な事件です。すべての国、特にイスラム国は、手遅れになる前に、直ちに救済措置をとるべきである。国連をはじめとする国際機関は、中国に圧力をかけてウイグル人に対するジェノサイドの調査を行わせるための措置を早急に講じなければならない。これらの犯罪は国際的な委員会によって進められ、中国共産党の犯罪者は国際法廷で起訴されなければならない。そうでなければ、故ウイグル族の指導者の一人であるイザ・ユスフ・アルプテキン (İsa Yusuf Alptekin) が「私の民族は滅亡の大きな危機に直面している」と回想したように、「私の民族が滅亡の危機に直面しているのです。破滅の危機から逃れられなければ、彼らは滅びるだろう。」²⁹

²⁹ Alptekin, Y. İsa (1985), *Esir Doğu Türkistan İçin İsa Yusuf Alptekin'in Mücadele Hatıraları*. Istanbul, Turkey.

参考文献

Abdurasulov, Abdujalil. (2019, February 12). Uighur Crackdown: I spent seven days of hell in Chinese Camps. BBC. Retrieved from: <https://www.bbc.com/news/world-asia-47157111>

Alptekin, Y. İsa (1985), Esir Doğu Türkistan İçin İsa Yusuf Alptekin' in Mücadele Hatıraları. Istanbul, Turkey.

Aytekin, Emre. (2018, October 17). HRW'den yetim Uygur çocuklar uyarısı. AA. Retrieved From: <https://www.aa.com.tr/tr/dunya/hrwden-yetim-uygur-cocuklar-uyarisi/1284699>

Bag, Mustafa. (2019, August 14). Doğu Türkistanlı kadınlar: Çin, toplama kampında verdiği ilaç ve iğnelerle bizi kısırlaştırdı. Euronews. Retrieved from: <https://tr.euronews.com/2019/08/14/dogu-turkistanl-kadinlar-cin-toplama-kampinda-verdigi-ilac-ve-ignelerle-bizi-kisirlastirdi>

Byler, Darren. (2019, August 7). Uyghur love in a time of interethnic marriage. SupChina. Retrieved from: <https://supchina.com/2019/08/07/uyghur-love-in-a-time-of-interethnic-marriage/>

Cockburn, Harry. (2018, November 28). Muslim woman describes torture and beatings in China detention camp: 'I begged them to kill me'. Independent. Retrieved from: <https://www.independent.co.uk/news/world/asia/uyghur-muslim-china-mihrigul-tursun-torture-reeducationcamps-a8656396.html>

Genocide. (.n.d.). Retrieved from <https://www.un.org/en/genocideprevention/genocide.shtml>

Hartman, Leight. (2020, February 7). Çin, Uygur kadınlarını istenmeyen evliliklere zorluyor. Share America. Retrieved from: <https://share.america.gov/tr/cin-uygur-kadinlarini-istenmeyen-evliliklere-zorluyor/>

Hao, Shiyuan (2020), China' s Solution to Its Ethno-National Issues. Springer, Singapore. Kang, Dake and Wang, Yanan. (2018, November 29). China Sends 1.1 Million Party Members to share Uighurs' Homes. Bloomberg. Retrieved from: <https://www.bloomberg.com/news/articles/2018-11-30/urgentuninvited-guests-keep-watch-for-china-inside-uighur-homes>

Özarıslan, B. Bahandır (2014). Soykırım Suçunun Önlenmesi ve Cezalandırılması Sözleşmesi Açısından Hocalı Katliamı. Hacettepe Hukuk Fakültesi Dergisi. Retrieved from: <http://www.hukukdergi.hacettepe.edu.tr/dergi/C4S1makale9.pdf>

PBS Frontline. (2020, April 7). China Undercover. PBS Frontline. Retrieved from: <https://www.pbs.org/wgbh/frontline/film/china-undercover/>

Rajagopalan, Megha. (2020, February 15). She Escaped One of China's Brutal Internment Camps for Muslims. Now she Could Be Sent Back. Buzzfeed News. Retrieved from: <https://www.buzzfeednews.com/article/meghara/china-uighur-xinjiang-kazakhstan>

Schmitz, Rob. (2018, November 13). Ex-Detainee Describes Torture In China's Xinjiang Re-Education Camp. NPR. Retrieved from: <https://www.npr.org/2018/11/13/666287509/ex-detainee-describes-torture-in-chinasxinjiang-re-education-camp>

Schmitz, Rob. (2018, November 13). 'They Ordered Me To Get An Abortion': A Chinese Woman's Ordeal In Xinjiang. NPR. Retrieved from: <https://www.npr.org/2018/11/23/669203831/they-ordered-me-to-getan-abortion-a-chinese-womans-ordeal-in-xinjiang>

TBMM İnsan Haklarını İnceleme Komisyonu. Soykırım Suçunun Önlenmesine ve Cezalandırılmasına Dair Sözleşme. Kamu Denetçiligi Kurumu. Retrieved from: <https://www.ombudsman.gov.tr/contents/files/32702-Soykirim-Sucunun-Onlenmesine-Ve-Cezalandirilmasina-Dair-Sozlesme.pdf>

UHRP. (2019, February). "Ideological Transformation": Records of Mass Detention from Qaraqash, Hotan. Retrieved from: https://docs.uhrp.org/pdf/UHRP_QaraqashDocument.pdf

Uyghur Human Rights Policy Act of 2019, S.178, 116th Cong. (2019). Retrieved from:
<https://www.congress.gov/bill/116th-congress/senate-bill/178>

UYHAM. (2017, October 18). Çin Uyghur Ana-Babalari Hapsediyor, Çocuklarını İse, Çin'e Götürerek Assimile Ediyor. World Uyghur Congress. Retrieved From:
<https://www.uyghurcongress.org/tr/cinuyghur-ana-babalarihapsediyorcocuklarini-ise-cine-goturerek-assimile-ediyor/>

World Uyghur Congress. (2019). "East Turkistan",
<https://www.uyghurcongress.org/en/east-turkestan-2/>

Xu, Cave, Leibold, Munro & Ruser. (2020, June 5). Uyghurs for Sale: 'Reeducation', forced labour and surveillance beyond Xinjiang. Retrieved from: https://s3-ap-southeast-2.amazonaws.com/ad-aspi/2020-06/Uyghurs%20for%20sale-05JUN20.pdf?glsFgI8LmxiW_.bfX8GZjgtHpA9dcK30



© 2020 Campaign for Uyghurs
1101 Pennsylvania Ave NW, Suite 300 |
Washington, DC 20004
+1.240.660.8877 |
campaignforuyghurs.org |
contact@campaignforuyghurs.org